



アメリカ

バージニア州ロアノーク

2018年7月～2022年6月 滞在
(2022年記)

子どもの年齢 長女 小1～小5
長男 年少～小2

基本情報

気温	日本の北関東に似た気候で四季がある 夏はカラッとしていて過ごしやすい 年に数回雪が降る事があり、多い時は積雪1m 朝晩と日中の寒暖差は日本よりも大きい
緊急電話	911
電圧	120V
水	日本と比べてやや硬水 飲料水はスーパーで購入し、約4リットルで1ドル弱

買い物

日本の物	ロアノーク市内で日本の物(食品以外)を購入する事はなかった 値段が高くなるが「AmazonUSA」でほぼ何でも手に入る
食料品	日系スーパーはノースカロライナ州シャーロット(車で3時間)に「HATOYA」があり、ネット注文も可能 普通の買い物は「Kroger」で、大根・白菜・豆腐・椎茸等も常備されている 市内にはいくつかのアジアンスーパーがあり、納豆・日本のお菓子・味噌・冷凍マグロ・白だし・めんつゆ等ひとつおりの日本食材は手に入る
日用雑貨	上記「Kroger」で購入 「アメリカダイソー」のネット注文も利用 「Walmart」や「Target」もよく利用した
学用品	家での勉強用の筆記用具、ノート一式は日本から持参 現地の学校で使う文房具は現地調達(学校指定の文房具がある為)
衣類	生地伸びが悪かったりウエストサイズが合わなかったりする為、現地ではほとんど買わず日本のサイトからネットで購入 運動靴(アメリカではテニスシューズと言う)も、マジックテープタイプのものがほとんどなく日本から送ってもらっていた 「Once Upon A Time」という子供用リサイクルショップがあり、ハロウィンやクリスマス衣装、本等はここで購入し、着なくなった服も買い取りしてくれる

交通

公共交通	市内の電車はワシントン DC 行きの長距離列車のみ バスはショッピングモールやダウンタウン内を巡回しているが、日常的に使うものではない
運転免許	日本の運転免許を持っていれば筆記と実地試験が免除されるが、手続きが煩雑なので筆記・実地試験を受けている方が多い

筆記試験は日本語で受けられるが、教本は英語とスペイン語のみで日本語はない
実地試験は通訳の同席不可なので、判定員の英語を自力で理解する必要がある

住居

住宅事情	まず小学校を選び、その学区内で住居を探した おすすめは一軒家だが、賃貸の一軒家が少ない 一軒家の場合、庭師を雇う事をおすすめする 雇わない場合は、最低 2 週間に一度芝刈りや、落ち葉拾いを自分でする事になり、庭が広いのでかなりの重労働になる ご近所で同じ庭師と契約するケースも多い アパートメントの場合、騒音等の近所トラブルのリスクが高い(壁や床が薄い為)
日本人が多く住むエリア	Cave Spring
使用人	なし
治安 セキュリティ	とてもどかな雰囲気のある街で治安はとても良い 一度も怖い思いをした事はないが、コロナ禍に都市部でのアジア人差別が問題になった時期には、念の為護身用ペッパー Sprey を持ち歩いていた

教育

通った学校	Cave Spring Weekday School (プリスクール) Green Valley Elementary School (キンダーガーデン・小学校が同じ敷地内にある)
通った学校の詳細	<p>●Cave Spring Weekday School</p> <p>生後 10 か月から入園可 週 4 日、9:00~12:00、昼食なし。 キリスト教会に併設されているプリスクール(宗教は問わず入園可) 長男は 3 歳で入園、当時在籍日本人は我が子のみで、3歳児クラスは生徒 12 名、先生 2 名 先生は、英語がわからない我が子が困らないよう親切丁寧に接してくれた キンダーガーデンに上がるまでに必要最低限の英語を習得できるよう指導してくれた</p> <p>●Green Valley Elementary School</p> <p>現地公立校、全学年 7:30 登校 14:30 下校 新学期は 8 月中旬スタートで、5 月下旬から約 3 か月間夏休み スクールバス通学の場合、各家の前までバスが迎えに来てくれる 一クラス 25 人程度、一学年 4 クラス 当時の在籍日本人は我が子のみ 定期的な先生との面談はないが、いつでも面談を申し込むことが出来、その際、希望すれば学校側が無料で日本語の通訳を手配してくれる 授業参観も無く、学校の様子を見る機会は少ない</p> <p>【ESL クラス】</p> <p>週に 2~3 時間英語の個別授業、生徒数は学年で 4~5 名、小学校専属の ESL の先生が 1 名在籍 入学時および年 2 回英語のテストを受け、バージニア州が指定したスコアに到達すると ESL クラスを卒</p>

	<p>業</p> <p>長女は2年間、長男は1年間 ESL クラスに在籍</p> <p>コロナ前はカフェテリアで子供と一緒に昼食をとる事ができた</p> <p>コロナ後、朝食(ほとんどの生徒が学校で朝食をとる)・昼食が無料となる (コロナ前は有料)</p>
塾	KOUMON があるが、日本人で通っている人はいなかった
家庭教師	長女は最初の1年間、知り合いのバイリンガルの娘さんに英語(週1時間)を習っていた
習い事	<p>長女はバレエ、水泳、絵画教室</p> <p>長男は水泳、サッカー</p>
アドバイス	<p>近くに補習校がなかった事や日本人が少ない地域という事もあり、当初は子供達が現地の生活に馴染めるのかとても心配でしたが、先生方にも恵まれて充実した学校生活を送る事ができました。</p> <p>公立現地校の授業カリキュラムは日本よりもゆとりがあると思います。宿題はほとんどありません。</p> <p>帰国後、日本の学校の授業のスピードや宿題の多さに慣れるのが大変でした。</p> <p>日本と比べると私立の小学校に通う子の割合が多いですが、英語のサポートがないので我が家の選択肢にはなりません。もし、ある程度英語ができるお子様であれば私立の学校も良いと思います。(入学試験は無く、簡単な書類選考があるのみ)</p> <p>夏休みには様々なサマーキャンプがあり、申込は4月頃からスタートします。</p> <p>長女は英語を聞き取るのに3か月、少し話せるようになるまで6か月ほどかかりました。帰国後に英検2級を取得しました。</p> <p>長男は英語がわからなくても幼稚園で困る事はほとんどない様子でした。キンダーガーデンに入学する頃には学校生活に必要な英語力は習得できました。帰国後に英検3級を取得しました。</p> <p>日本の学習内容は通信教育(ベネッセのチャレンジ)で補いました。</p> <p>補習校に通わない場合、大使館に教科書受取の申請(年に2回)をすると、日本の教科書を受け取る事ができます。</p> <p>プリスクール選びは、日本のようにそれぞれのホームページやネットでの情報はほとんど無く、ご近所さんの口コミを頼りに探しました。</p> <p>小学校選びは、小学校ごとの様々なデータが公開・ランク付けされているのでそれを参考に小学校を選びました。越境入学はほぼ認められません。</p>

病院

医療事情	<p>病院では事前予約がないと診療してもらえない(当日順番待ち不可・予約に空がある場合のみ受診可)</p> <p>子供が熱を出した時は24時間予約無しで受診できる Urgent Care(緊急診療所)に行く</p> <p>診療代は後日請求書が届いてから支払う</p> <p>加入している保険により個人負担額が変わってくる為、受診をする時点では支払い額は不明</p> <p>事前に自己負担額を確認してくれる病院もある</p> <p>受診の際、英語に困るようであれば、その場で電話対応する日本語通訳を無料で用意してくれる</p> <p>予防接種(コロナワクチンも)は薬局で受ける事ができる</p>
日本人医師	なし
薬品	<p>常備薬は日本から持参</p> <p>虫よけスプレーや、ムヒ等も日本から持っていくと安心</p>

交流

日本人	ロアノーク市内に日系企業が3社あり、その駐在家族と現地永住の日本人家族、合わせて7家族と主に交流があった ひな祭りや子供の日等、季節ごとの日本文化を子供達に経験してもらうホームパーティーや誕生日パーティーを一緒に祝った 主にアメリカ永住の日本人で構成された俳句の会もある
現地の人	子どもたちの学校の友達の親と知り合い、お互いの家で子ども達を遊ばせる事があった
駐在外国人	大人向けの ESL 教室があり、そこで知り合う機会がある

伝えたいこと

ロアノークはとても治安が良く、比較的物価も安く、子育てをするにはいいところだと思います。

自然が身近にあり、庭にはリスや鹿やウサギが遊びに来てくれます。6月下旬には蛍を見る事ができます。

是非、ご家族そろっての駐在をおすすめします。

現地での情報収集は Facebook や Instagram を利用するといいと思います。イベントや店舗のホームページは情報がほとんど更新されません。

私自身英語が出来ず不安もありましたが、英語がわからない時でも現地の方は私の言っている事を一生懸命理解しようとしてくれました。親切な方がほとんどです。1年経つ頃には子供達の英語が上達してくるのでいろいろと助かりました。

現地での生活に慣れたら、是非アメリカの大自然を堪能してほしいと思います。我が家は国立公園巡りをしました。

ひとつの国立公園にゆっくり滞在できるのもアメリカ駐在の特権だと思います。

アメリカで4年間過ごし、アメリカ文化に直に触れられた事はとても貴重な経験でした。

アメリカ人の大らかさ、自分を大切にする考え方、多様性、それらを肌で感じることで、自分の生き方を見つめ直す4年間でもありました。

それと同時に、日本人の礼儀正しさや秩序をきちんと守れる文化は素晴らしいと改めて実感する事ができました。

皆さまにおかれましても、充実した海外生活が送れます事を心よりお祈り申し上げます。